



「保育園こども食堂等を起点とした食支援事業」

利用者アンケート調査報告書

「保育園こども食堂」の効果と

利用者の声

2024.6.11

子どもたちのために、日本を変える

Florence

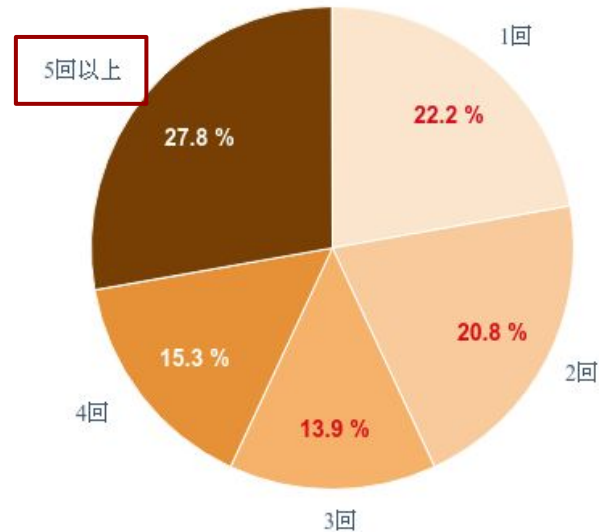
アンケート調査概要

項目	内容
調査名称	保育園を起点とした食支援活動に関する利用者アンケート
調査目的	<p>○この調査では、当助成金を活用した食支援事業（こども食堂、パントリー、宅食）を利用している家庭の実態を把握すること。そして家庭の生活状況、食支援事業の利用頻度や利用理由などを詳しく調査し、利用家庭の実際の生活状況を把握することを目指す。</p> <p>○上記の食支援事業を利用している家庭がどのようなニーズを持っているかを明らかにすること。具体的には、現在の食支援活動に対する満足度や改善点、追加して欲しいサービスやサポート内容、参加する際の障壁や希望する支援内容などを調査を行った。そして、より効果的な食支援活動や保育園多機能化を展開するための基礎資料とすることを目的とする。</p>
調査方法	オンラインでのアンケート回答（中間支援法人：認定NPO法人フローレンス経由の助成金を受けて活動した団体を通じての利用者へアンケート配布）
調査期間	2024年3月31日(木)～4月23日(火)
調査対象	当助成金の事業を利用した家庭
調査対象者数	254件

保育園こども食堂利用者の利用頻度

助成期間中（3～5ヶ月）に多くの家庭が5回以上利用

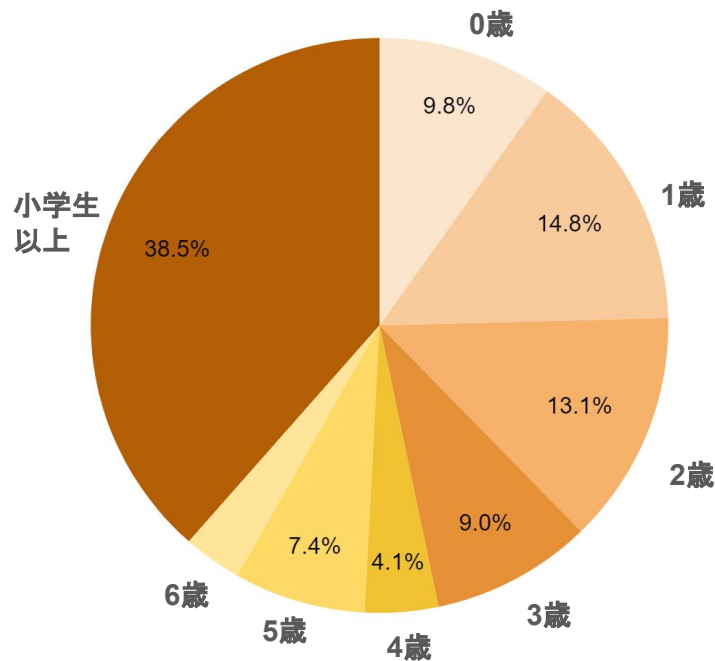
Q2で「ある」と答えた方（1, 2を選択した方）：「保育園こども食堂」を何回利用しましたか？
【イートイン・テイクアウトともに利用したことがある場合は、合計の回数を教えてください。】



保育園こども食堂利用者のお子さんの状況

未就学児の利用が6割強

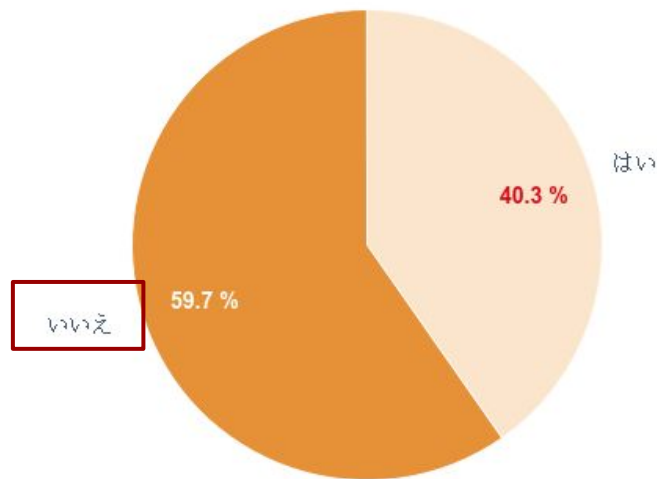
Q2で「ある」と答えた方（1, 2を選択した方）：「保育園こども食堂」を利用されたお子さんの人数と、お子さんの現在の年齢を教えてください。



保育園こども食堂利用者の広がり

こども食堂の広がり：利用者の約60%が在園児家庭でない

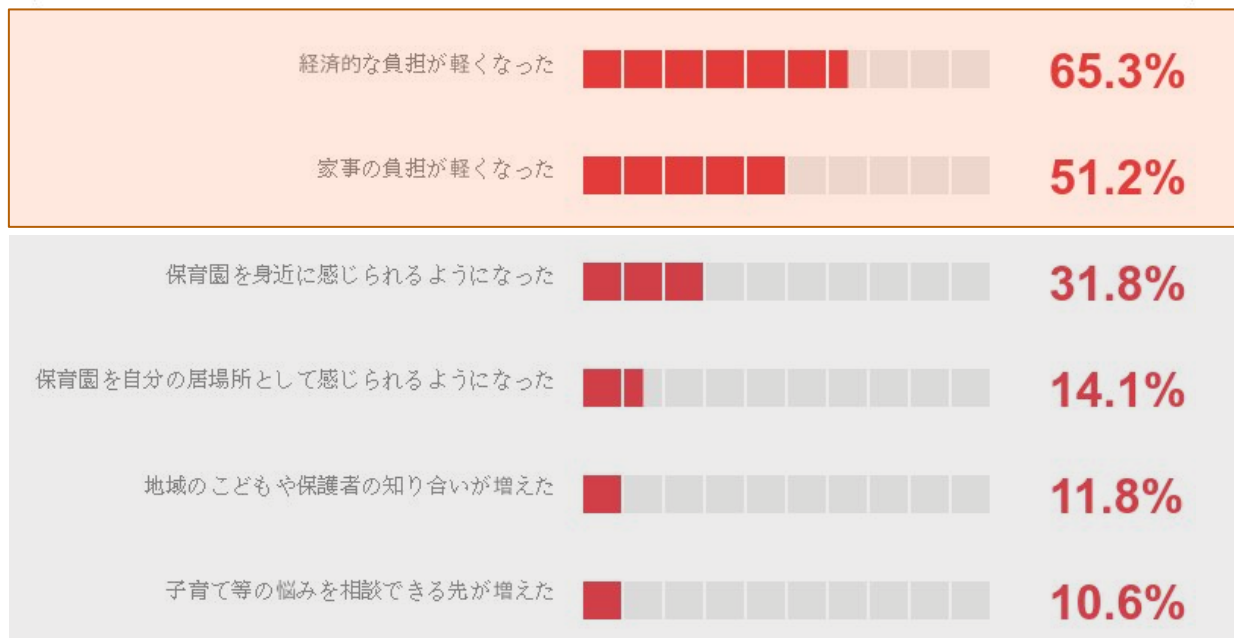
Q2で「ある」と答えた方（1, 2を選択した方）：
「保育園こども食堂」の実施園に通われているお子さんはいらっしゃいますか？



保育園こども食堂利用者の変化（1/2）

経済的・家事の負担感が軽減

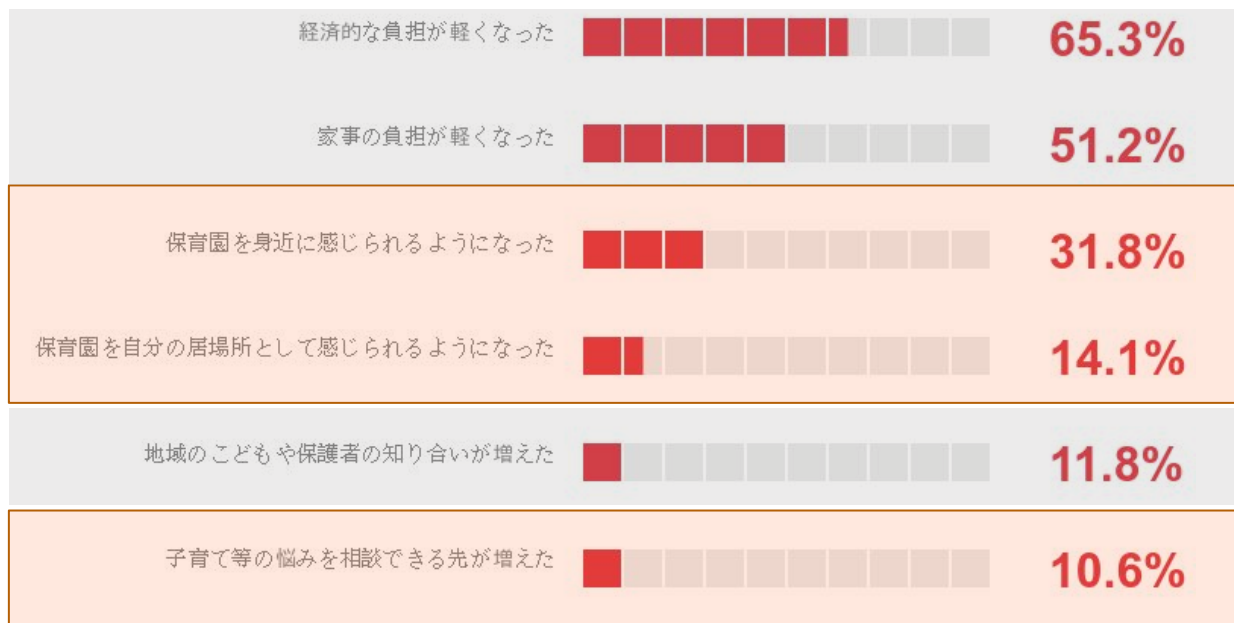
「保育園を起点とした食支援活動」（保育園こども食堂、保育園を起点としたフードパントリーや宅食）を利用して、どんな変化がありましたか。



保育園こども食堂利用者の変化（2/2）

保育園が身近な居場所・相談先となった

「保育園を起点とした食支援活動」（保育園こども食堂、保育園を起点としたフードパントリーや宅食）を利用して、どんな変化がありましたか。



経済的負担の軽減

- **オムツやミルクは絶対必要な物** なので、家計としても助かった(女 / 35～39歳)
- 子どもを育てるにはこれほどお金がかかるのかと驚く毎日 です。また **居住する自治体により受けられるサービスが天と地ほど違う** ことにも愕然としています。フードパントリーで食料、おむつなど日用品の提供を受けられたのは本当に助かりました。(女 / 40～44歳)
- **ひとり親しか利用できないイメージがあった** のですが違うとわかったのでフードパントリーに参加させていただきました。色々な種類の食材があり楽しいし食費もだいぶ助かりました。
- 食費高騰のため、家計が少し助かった。その分、普段買わないようなフルーツを買って娘に食べさせることができた。(女/30～34歳)
- **普段余裕がなくてあげられない、おやつやジュースを子供たちが喜んだ**。(女/40～44歳)

ゆっくり安心してこどもと過ごせる時間の提供

- 仕事が忙しく、料理が苦手なこともあるので 利用させていただいて負担が減り、子供とゆっくり過ごす時間が少し増えました。ごはんを作らないと。栄養あるもの食べさせないと。という 追い込まれている感覚が軽減されました。(女/40~44歳)
- 本当は色々外出などしたいのですが、お弁当作るのは大変ですし、かといって外食は高いし、お子様ランチ等は揚げ物ばかりで栄養バランスも微妙で億劫なのですが、親子で安心して食べれたので楽しかったです。(女/40~44歳)
- **ごはんを作る時間が無い分、子どものお世話をしあげられるし、気持ちの余裕が持てた** 。子ども達は外食気分を楽しめていてとても嬉しかったです。このような活動が続くと助かります。
(女/35~39歳)

孤独な育児から社会的つながりへ

- たくさんの方と交流できる場所(女 / 45～49歳)
- 生産者様や実施者からの想いを聞いたことが良かったです。また、**みんなが繋がって社会が成り立っていることを再認識**したことが良かったです。(男 / 45～49歳)
- **地域が子どもの存在を認め歓迎している空気を肌で感じることで心強い気持ちになりました**。(女 / 40～44歳)
- 職員さんの丁寧な対応やちょっと会話を交わすだけでも **気持ちが明るくなった**。
- **地域に、知人が少ない**ので、卒園したあとに、保育園の先生や、久しぶりに会う顔見知りのお母さんと、お話できて、**孤独感などが薄れ、嬉しかった**。(女 / 45～49歳)
- 同じような病気の子と交流もでき、フードパントリーもしていただけて助かりました。

育児相談や情報交換の場として

- 先生や他の親御さんと**子ども悩みや情報交換** を話せた事が収穫だった。(女 / 40～44歳)
- **離乳食についての相談** などさせてもらい、ありがたかったです！(女 / 35～39歳)
- **絵本の選び方** や子育ての悩みなどの相談にもものっていただき、とてもありがたかったです。
(女 / 35～39歳)

食育の広がり

- フードパントリーでお米を頂いてから、**子供がお米を沢山食べるようになりました**。
(女/35~39歳)
- 夕食を作らなくていい事、さらに『**保育園のお弁当だよ!**』と言うと、**子供が喜んでくれる** 事です。お米を食べる量も増えました。いい事尽くしで感謝です。(女/ 35~39歳)
- 普段自分では買わない食品や飲料をいただけて、子供が喜び、**知らなかった子供の好みを知ることができた**。(女/45~49歳)
- 今まで買ったことがなかった食品 (子供用のカレーなど)があり、**偏食気味な子供が拒否することなく食べてくれて助かった**。
- 保育園での食事は、**他の子がしっかり食べているのを見て、自分でスプーンを持ち、集中して食べて** いました。

未就園児家庭が園を知るきっかけに

- 保育園入園前の子どもが保育園でも楽しそうに遊んでいる姿が見れて、**保育園に預ける時の心配が減った**。(女/40～44歳)
- 保育園入園前だったため、**保育園のプレ入園のような経験ができてよかった**。(女/35～39歳)
- **保育園のスタッフさんの雰囲気を知ることでもできてよかった**です。(女/30～34歳)

【参考】子育てに関するお困りごと（1/6）

こどもの食に関すること

- **野菜類を食べてくれない**
- 大人がご飯の時に遊んでって言う。じじばばは見てくれないしパパは早くご飯食べろと言うので難しい
- **子どものご飯のレパートリーが少ない**
- 咀嚼を覚えてもらいたいのにならぬ野菜スティックもりんごスライスも食べてくれないで 噛むことを教えてあげられなくて丸呑みしてしまうこと
- **食事。遊び食べ、偏食。**
- 基本ワンオペです。夕飯の支度にかかる時間が最も長いので短縮したい。
- **妊娠中の子供の食事の準備**が大変。
- **子連れで行ける健康的な外食**がない
- **毎日の買い物と献立を考えること**。また考えて作ったものを食べて貰えないこと。

【参考】子育てに関するお困りごと（2/6）

相談や交流の場の必要性

- 月齢に応じた遊びや遊具の提供について。月齢が近い子を持つママ同士の交流の機会が少ない。
- 始めての子かつ、知り合いがいない中での子育てなので、簡単に相談できる相手がない。好き嫌いや成長速度など、正常範囲なのかどうかわからなくて無駄に不安になってしまう時がある。
- 子育てに関して、ちょっとした悩みや相談をできるところがない。(ママ友などではなく、保育士などの専門家)
- ちょっとしたわからない事や相談事を聞ける場がない。最近はい先生のインスタみてヒントを得てる。身近にいて先生みたいな方に相談できる場があればいいのに、と思う。
- 食費、衣類費、日用品費ととにかくお金がかかります。節約もしてますが苦しいです。小学校に入学し、子どもの居場所が少なくなったと感じます。また、親同士の交流がすくなく、子育て相談場所があまりありません。

【参考】子育てに関するお困りごと（3/6）

相談や交流の場の必要性

- 我が子が他の子と比べて平均的な発達なのか、もしかして遅れているのかがわかりません。比較することではないのかもしれませんが、やはり親としては気になってしまいます。ネットの情報を頼りにすると、障害児に当てはまるのでとても不安に思っていたのですが、フードパントリーで相談した保育士さんが「大丈夫ですよ」と言ってくださったことで **心が救われました**。
- 夫の勤務時間が長く(朝から夜遅くまで。ほぼ毎日終電で帰宅)、自分が無職(専業主婦)のため、いわゆるワンオペ育児の状態が産後すぐから始まり、子育てに関わる衣食住の大小さまざまなことを、誰かに相談する間もなく(夫に相談したくても生活時間がずれて話す時間がなかなかとれない、地区担当の保健師は日中しか電話できない)、自分ひとりで決断しなければならないケースが多く(実家はどちらも遠く、近所に友人はいない)それがときどきしんどい。特に夜に子どもが具合が悪くなったときや、子供にイライラしてしまったとき、**1人で対処するのが不安になったり、しんどくなったりする**。

【参考】子育てに関するお困りごと（4/6）

時間の不足に関すること

- 何かとお金がかかる。いつも時間がない。
- 小学生の勉強をゆっくり見てあげる時間がない。子供それぞれとの時間が取れなかったりするので **関わりのバランス** が難しい。
- 当たり前ですが、子供は思い通りに動かないので、食事、睡眠、お風呂、遊び、着替え ... **全てに時間や労力** がかかり、常に疲れており、免疫力が下がり、晩年体調が悪い。
- 共働きなのですが、収入が減るのでほぼフルタイムに近い時間で働いています。そのため **子どもとの時間が減ったり、朝夕の食事や家事がバタバタで大変** で、子どもの寝る時間も遅くなり可哀想なことをしていると思っています。週末は溜まった家事をこなすので精一杯で、あまり外出する気力がなく、色々出かけてあげたいけれど、なかなか出来なくて申し訳ないです。
- **時間がない。余裕がない。イライラしてしまう。**
- 家事、仕事に終われゆっくりする時間、**子どもに向き合う時間もしんどく感じる** ことです。

【参考】子育てに関するお困りごと（5/6）

経済的なこと

- 何かとお金がかかる。いつも時間がない。
- 家賃負担が重すぎる その上、物価高できつい。
- 物価高騰の中、食べ盛りの子どもをお腹いっぱい満足させるだけの食品が買えるか いつも不安です。
- 物価高騰の影響もあり、子供食堂を利用する機会が増えた が、頻度が少ないので増やして欲しい。
- 物価高で、オムツや食材全てが高く苦しい です。
- 子どもが病気の時に仕事に行けない 。お金がかかる
- 金銭面の不安 。働き方と収入 の、理想と現実とのギャップ。
- オムツ、ミルク、保育園着等、節約していても最低限必要なものがたくさんある 。
- 子供の塾代が高い。大学費用が払えない

【参考】子育てに関するお困りごと（6/6）

ひとり親での生活の困難

- 賤や母子家庭で全てを背負ってます。たまにどうすればいいのか **息が詰まる** ことがあります。
- シングルマザーで **周りに頼れる人がいない** 事
- シングルなので **自分の休みがとれない**
- 児童扶養手当一部支給、市民税課税世帯と同じひとり親でも受けられない支援などが多く、収入より支出が増えるので、周りの児童扶養手当全額支給、市民税非課税世帯より **時間やお金に余裕がない**。
- 仕事しながら子育ては **時間が足りない** こと。1人の収入で子育て2人よりいい **環境を与えられない** ことなど
- シングルにとってはいつも **お金の心配** がつきまとい、自分の命がいかに責任が重いかの **プレッシャー** がついてまわります。
- 母子家庭で **忙しく孤立しがち**。